



浅香さん

生成AIの年に

▽：「生成AIは業種に関係なく専門性のある分野で不可欠なツールになる」とみて、生成AIと顧客の社内情報を組み合わせた業務用知識システム「GPB」を開発する。

▽：「2025年も講演や本の執筆を含め、生成人工知能（AI）のイベントが続きそう」と見通すのは、AAC（横浜市西区）社長の浅香忠満さん。

▽：技術・技能・ノウハウの伝承や商品開発、人材育成などへの活用が目的だ。自社開発にてこずる企業からも相談が舞い込むことから、「GPBの考え方が拡大する年になる」と期待する。